

## 歯内療法（歯の根の中の治療）

## の 説明

むし歯が進行すると細菌は歯の根の中に侵入し、歯髄（神経と血管の集まり）を侵し、根の先からあごの骨へと広がってゆきます。感染の広がりをくい止め大切な歯を抜かないですむよう、感染した歯髄を取り除いて歯根の内部を消毒し、再び細菌が侵入しないように完全に密封してしまいます。この一連の治療が『歯内療法』です。

歯の根は非常に細く形も複雑で、治療には細心の注意と労力、時間が必要ですが、歯を救うために欠かせない重要な治療です。根気よく最後まで治療をお受けください。

## ■ 根管治療

細菌に感染した歯髄や象牙質を取り除き、清掃消毒します。

## ■ 根管充填

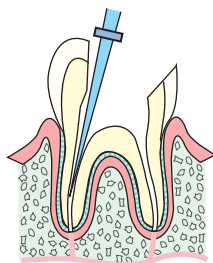
清掃消毒した歯根管を封鎖して、周囲の歯周組織への感染を防いで歯の機能を維持させます。

## ■ 補綴治療

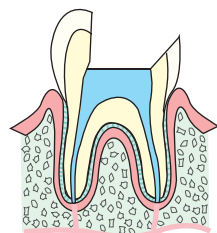
上に被せるための土台作りをし、クラウンを被せます。

## ■ 再根管治療

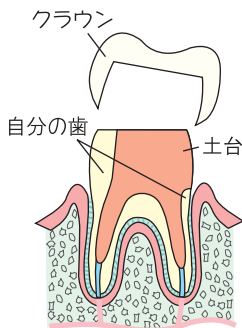
治療したはずの根の先に病巣があると、激しい痛みや腫れなどが起こることがあります。たとえ症状がなくても病巣は自然には治りません。歯を救うためには一度入れた補綴物はずし、もう一度根管治療を行います。入れたものを取り外す分だけ最初のときより大変ですが、頑張って最後まで治療を受けましょう。



根管治療をはじめます



根管充填をします



土台を作り、クラウンをかぶせます

治療した歯がきちんと機能を果たしているかどうかを確認するためにも、必ず定期的な検診にご来院ください。